



補習校だより

平成26年度 第9号

平成26年5月31日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

ハリケーンシーズン

校長 永井 晋

マイアミでは6月から11月までの6ヶ月間をハリケーンシーズンと言います。先日マイアミ総領事官からの依頼で、ハリケーン通過に伴う安否確認の訓練を行いました。ここマイアミではハリケーンによる被害が予想されるため、毎年行っています。ハリケーンとは日本で言う台風とは異なり、強い台風以上のことを指します。一番小さなカテゴリー1でも風速が秒速33m以上で、これは日本の気象庁によると「木が根こそぎ倒される」「屋根が飛ばされたり木造家屋の全壊が始まる」程度です。カテゴリー5だと風速が秒速70m以上と日本には資料がないくらいの風で想像すらつきません。過去に大きな被害をもたらしたハリケーンアンドリューは最大瞬間風速が秒速73mを記録したそうです。日本で言うところの台風はトロピカルストームと言いますが、これも規模が大きいことが多く危険を伴います。マイアミに住んでいる私たちは天気予報を確認するとともに台風の予報が出たら **National Hurricane Center** で情報を知り行動することが必要です。ハリケーン・ウォッチやトロピカルストーム・ウォッチは48時間以内に上陸、暴風雨圏内に入る可能性があることを表し、ハリケーン・ワーニングやトロピカルストーム・ワーニングは36時間以内に上陸、暴風雨圏内に入る可能性があることを表しています。公立の学校はトロピカルストーム・ワーニングが発令されると閉鎖される可能性があります。また、トロピカルストームやハリケーンは洪水やトルネードを伴うことがあり、こちらも大変危険です。テレビやラジオ等で情報を確認し注意することが大切です。ハリケーン通過後は停電や断水が予想されるため、2週間分の水や食料、乾電池などを備えておく必要があります。予報が出るとスーパーの飲料水はすぐに売り切れになります。何事も備えあれば憂いなしです。詳しくはマイアミ総領事館のホームページをご覧ください。

